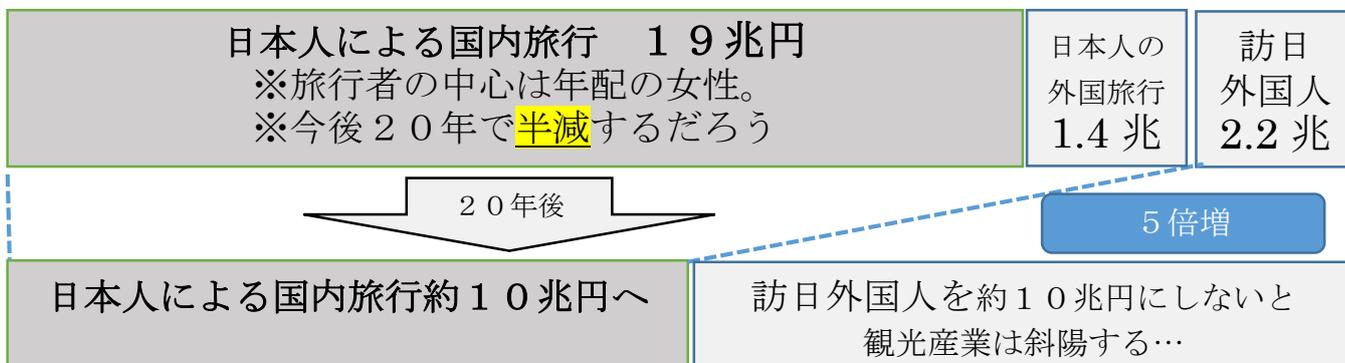


# 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議

2015年11月9日 委員 石井至

国内の観光消費額（2014年暫定値） 約23兆円のうち



## <日本の産業としての観光を維持するだけでも…>

- ① **インバウンド**（訪日外国人）からの消費額を最低**5倍増**する必要がある。  
 ※羽田・成田・関空はかなり一杯。地方空港へ直行便で来てもらう。  
 ゴールデンルート（GR：東京・京都・大阪）以外のルート開発。  
 観光客数増にはリピーター確保が必要⇒訪問先の選択肢を増やす。  
 地方にラグジャリーホテル建設（海外で当たり前の「税制優遇」必要）  
 ※不便を解決（WiFi・ATM整備・多言語表記＝観光庁が頑張った）
- ② 日本人による国内旅行の目減りを食い止めるためには  
 ※**旅行の限界年齢を上げる、限界状態を広げる**  
 車椅子でも旅行できるように＝バリアフリー、ユニバーサル化  
 軽度の認知症でも旅行できるような工夫を考える

## <目標は、世界第一位のフランスは毎年8400万人>

- ・人口：フランスの人口は6100万人。人口より多い外国人観光客。
- ・国土面積63万平方キロ→1平方キロあたり97人。
- ◆日本は人口 約1億3000万人だが…。国土面積 約38万平方キロ  
 →1平方キロあたり97人とすれば外国人観光客は約3700万人  
 ※約3700万人だと世界第7位程度。これが今後10年の目標か。

その他のキーワード：

民泊。国別マーケティング。特定の国を当てにしない。富裕者。民族系代理店。東北の風評被害。旅行しない世代・性別の刺激。JNTOのさらなる活用（アジアでの影響力は絶大）。

以上